

## 小委員会の調査報告書

教科名	理 科	委員長名 但 田 勝 義
調 査 研 究 の 経 過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月2日(木)に、稚内市役所正庁で開催し、理科小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月3日(金)から7月14日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月15日(水)に、稚内総合文化センター小ホールで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5社である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱い内容」について</p> <p>(2) 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(3) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(4) 「その他」について</p>	
調 査 研 究 に 当 た っ て の 配 慮 事 項	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、既に学習した内容の系統的な反復学習や練習問題などによる繰り返し学習に関する内容、観察・実験やレポートの作成に関する内容、他教科との関連する内容、補充的な学習や発展的な学習に関する内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。</p> <p>(2) 内容の分量が、各分野や各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 生徒の学習意欲を高める工夫がされているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>4 「その他」について</p> <p>上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少 数 意 見 そ の 他		

様式 2

教科名	理科			出版社名	教科書名	番号
	出版社名	教科書名	番号			
	東京書籍	新編 新しい科学1	727	東京書籍	新編 新しい科学2	827
取扱内容	<p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>○学習指導要領の総則に示す「教育課程の一般方針」「内容等の取扱いに関する共通事項」「授業時間等の取扱い」をふまえて編集している。</p> <p>○中学校理科学習指導要領の「目標」「内容」及び「内容の取扱い」に示された事項のすべてについて不足なく取り上げている。また、自然の事物・現象に進んでかかわり、意欲的にかつ目的意識をもって観察・実験を行い、探究的な活動を通して、科学的に探究する能力と態度が育成されるように配慮している。</p> <p>(2) 知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、既に学習した内容の系統的な反復学習や練習問題などによる繰り返し学習に関する内容、観察・実験やレポートの作成に関する内容、他教科との関連する内容、補充的な学習や発展的な学習に関する内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>○「? (課題)」に対する結論を「!まとめ」として明示し、自学自習にも役立てられるようにしている。また、公式や重要な事項は、「ここがポイント」欄を設けて強調している。p.21~25</p> <p>○「チェック」「学習内容の整理」「確かめと応用」で、自学自習にも対応している。「チェック」では、本文の参照ページを示し、「確かめと応用」では、巻末に解答と参照ページを示し、復習しやすくしている。p.113</p> <p>○つまずきやすいと考えられる内容では、「例題・練習・確認」や丁寧な解説場面「考え方」を示したり、記述をより丁寧にしたりして、つまずきを克服できるように配慮している。p.181</p> <p>○エネルギー、粒子、生命、地球の4つの概念に沿って、各単元に教材が適切に配置され、目次の「学習内容を見よう」や「学習内容のつながり」で4つの概念との関連を示している。また、「これまでに学んだこと」で既習事項を提示し、小学校や他学年との内容の系統性を保つように配慮している。p.2</p>			<p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>○学習指導要領の総則に示す「教育課程の一般方針」「内容等の取扱いに関する共通事項」「授業時間等の取扱い」をふまえて編集している。</p> <p>○中学校理科学習指導要領の「目標」「内容」及び「内容の取扱い」に示された事項のすべてについて不足なく取り上げている。また、自然の事物・現象に進んでかかわり、意欲的にかつ目的意識をもって観察・実験を行い、探究的な活動を通して、科学的に探究する能力と態度が育成されるように配慮している。</p> <p>(2) 知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、既に学習した内容の系統的な反復学習や練習問題などによる繰り返し学習に関する内容、観察・実験やレポートの作成に関する内容、他教科との関連する内容、補充的な学習や発展的な学習に関する内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>○「? (課題)」に対する結論を「!まとめ」として明示し、自学自習にも役立てられるようにしている。また、公式や重要な事項は、「ここがポイント」欄を設けて強調している。p.45~50</p> <p>○「チェック」「学習内容の整理」「確かめと応用」で、自学自習にも対応している。「チェック」では、本文の参照ページを示し、「確かめと応用」では、巻末に解答と参照ページを示し、復習しやすくしている。p.247</p> <p>○つまずきやすいと考えられる内容では、「例題・練習・確認」や丁寧な解説場面「考え方」を示したり、記述をより丁寧にしたりして、つまずきを克服できるように配慮している。p.241</p> <p>○エネルギー、粒子、生命、地球の4つの概念に沿って、各単元に教材が適切に配置され、目次の「学習内容を見よう」や「学習内容のつながり」で4つの概念との関連を示している。また、「これまでに学んだこと」で既習事項を提示し、小学校や他学年との内容の系統性を保つように配慮している。p.156</p>		

<p>○観察・実験の結果を分析・解釈するために、「結果の見方」と「考察のポイント」によって結果・考察の視点を示し、事実を認識させ、根拠に基づいて考えさせるように配慮している。</p> <p>○基礎操作「レポートの書き方」やレポート例「私のレポート」などによって、結果・考察を科学的に表現することを促し、言語活動の充実を図っている。p.74</p> <p>○基礎操作は、本文と区別した囲みの中で図解し、手順や操作上の注意事項が詳細に記述されている。p.14~15</p> <p>○各章の冒頭や随所に設けられた「これまでに学んだこと」で、既習事項が提示されており、小学校の学習内容との関連が図られている。p.2</p>	<p>○観察・実験の結果を分析・解釈するために、「結果の見方」と「考察のポイント」によって結果・考察の視点を示し、事実を認識させ、根拠に基づいて考えさせるように配慮している。</p> <p>○基礎操作「レポートの書き方」やレポート例「私のレポート」などによって、結果・考察を科学的に表現することを促し、言語活動の充実を図っている。p.16, p.198</p> <p>○基礎操作は、本文と区別した囲みの中で図解し、手順や操作上の注意事項が詳細に記述されている。p.157, p.277</p> <p>○各章の冒頭や随所に設けられた「これまでに学んだこと」で、既習事項が提示されており、小学校の学習内容との関連が図られている。p.156</p>
<p>内容の構成・排列・分量等</p> <p>(1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。</p> <p>○各単元の指導時期や内容の関連性をふまえ、生徒の科学的概念の形成に配慮された単元配列となっている。</p> <p>○各単元の指導順序を入れ替えても指導上の齟齬が生じないように、「リンクマーク」によって単元間の関連を図り、多様な指導計画にも対応できるように配慮している。</p> <p>(2) 内容の分量が、各分野や各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>○各学年ともゆとりをもって学習が進められるように、基本的な学習内容は、3年間の総授業時数の90%程度で指導ができるように、時数配分・学習指導計画を考え、作成している。</p> <p>○分量については次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年 第1分野は132ページ、第2分野は108ページ、資料等は30ページであり、総ページ数は270。</li> </ul>	<p>(1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。</p> <p>○各単元の指導時期や内容の関連性をふまえ、生徒の科学的概念の形成に配慮された単元配列となっている。</p> <p>○各単元の指導順序を入れ替えても指導上の齟齬が生じないように、「リンクマーク」によって単元間の関連を図り、多様な指導計画にも対応できるように配慮している。</p> <p>(2) 内容の分量が、各分野や各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>○各学年ともゆとりをもって学習が進められるように、基本的な学習内容は、3年間の総授業時数の90%程度で指導ができるように、時数配分・学習指導計画を考え、作成している。</p> <p>○分量については次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学年 第1分野は135ページ、第2分野は128ページ、資料等は23ページであり、総ページ数は286。</li> </ul>

- (1) 生徒の学習意欲を高める工夫されているか。
- 各章の学習前と学習後に同じ問いかけに答える「before & after」によって、生徒が自らの成長を実感でき、また、そのことによって学ぶ意味や必然性を感じられるようになっている。このことにより学習意欲全体が高まるようになっている。p.20, p.28
  - 資料性が高く、わかりやすく工夫されたダイナミックな写真やイラストなどを随所に配置して、生徒の興味・関心を高めるとともに、学習内容への理解が深まるように配慮している。各学年にペーパークラフトを付録として付け、平面では把握しづらい内容の理解をサポートしている。p. ③~1, p.232~233
- (2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- 生徒が主体的に探究的な活動に取り組めるように、「予想しよう」「調べ方を考えよう」「考察しよう」など探究の過程に直結した言語活動が配置されており、科学的な思考力・表現力が自然に育成できるように配慮されている。p.81~84
  - 学習後に言語活動「学びを活かして考えよう」「学んだことをつなげよう」や「どこでも科学」「科学で GO!」を設定することで、内容の理解をより深められるようにしている。p.58, p.159
  - 単元末には「確かめと応用活用編」を設け、PI SA 型の問題、活用型の問題にも対応できるようにしている。p.136
- (3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。
- 文章は短文を心がけ、明快で簡潔な表現になっている。また、読みにくい漢字には見開きの初出箇所ですりがなをつけるなどの工夫をしている。
  - 理科用語、記号は、学習指導要領、学術用語集、JIS、計量法にしたがって、適切に使用している。
  - 巻頭折込の写真資料のページを始め、全ページにわたり、鮮明で最新の写真を効果的に掲載している。
  - 簡潔でわかりやすいイラストを随所に掲載している。また、概念を定着させる図やまとめの図などを、わかりやすく提示している。p.40
  - 学習の案内役の「きゅうたん」を新設して、思考のヒントや学習活動の示唆を提示し、一方で、学習内容に対する実際の生徒の自発的な疑問や意見を、生徒キャラクターのセリフとして取り上げ、概念の押しつけにならないよう配慮している。

- (1) 生徒の学習意欲を高める工夫されているか。
- 各章の学習前と学習後に同じ問いかけに答える「before & after」によって、生徒が自らの成長を実感でき、また、そのことによって学ぶ意味や必然性を感じられるようになっている。このことにより学習意欲全体が高まるようになっている。2年 p.174, p.183
  - 資料性が高く、わかりやすく工夫されたダイナミックな写真やイラストなどを随所に配置して、生徒の興味・関心を高めるとともに、学習内容への理解が深まるように配慮している。各学年にペーパークラフトを付録として付け、平面では把握しづらい内容の理解をサポートしている。p.116~117, 付録
- (2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- 生徒が主体的に探究的な活動に取り組めるように、「予想しよう」「調べ方を考えよう」「考察しよう」など探究の過程に直結した言語活動が配置されており、科学的な思考力・表現力が自然に育成できるように配慮されている。p.97~104
  - 学習後に言語活動「学びを活かして考えよう」「学んだことをつなげよう」や「どこでも科学」「科学で GO!」を設定することで、内容の理解をより深められるようにしている。p.237
  - 単元末には「確かめと応用活用編」を設け、PI SA 型の問題、活用型の問題にも対応できるようにしている。p.210
- (3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。
- 文章は短文を心がけ、明快で簡潔な表現になっている。また、読みにくい漢字には見開きの初出箇所ですりがなをつけるなどの工夫をしている。
  - 理科用語、記号は、学習指導要領、学術用語集、JIS、計量法にしたがって、適切に使用している。
  - 巻頭折込の写真資料のページを始め、全ページにわたり、鮮明で最新の写真を効果的に掲載している。
  - 簡潔でわかりやすいイラストを随所に掲載している。また、概念を定着させる図やまとめの図などを、わかりやすく提示している。p.30
  - 学習の案内役の「きゅうたん」を新設して、思考のヒントや学習活動の示唆を提示し、一方で、学習内容に対する実際の生徒の自発的な疑問や意見を、生徒キャラクターのセリフとして取り上げ、概念の押しつけにならないよう配慮している。

<p>○実験や基礎操作、事故防止の注意などのマークは、学習の流れやポイントが即座に紙面から理解できるよう、色や形などを工夫している。</p> <p>○色覚に関する個人差を考慮し、例えばグラフの線などは、色だけで区別せず、線の形を変えたり、線の意味を言葉で示したりしている。</p> <p>p.110～111</p> <p>○本文やそのルビなどの主要部分の書体としてユニバーサルデザイン書体を使用し、読みやすさを追究している。</p> <p>○本文の文字は、大きく読みやすい書体を用いている。また、見出しや図のタイトルなど、必要に応じて文字の大きさを変えるなど、読みやすくする配慮をしている。特に1年は、発達段階を考慮し、小学6年の教科書と同じ大きさの文字を使用している。</p>	<p>○実験や基礎操作、事故防止の注意などのマークは、学習の流れやポイントが即座に紙面から理解できるよう、色や形などを工夫している。</p> <p>○色覚に関する個人差を考慮し、例えばグラフの線などは、色だけで区別せず、線の形を変えたり、線の意味を言葉で示したりしている。</p> <p>p.181</p> <p>○本文やそのルビなどの主要部分の書体としてユニバーサルデザイン書体を使用し、読みやすさを追究している。</p> <p>○本文の文字は、大きく読みやすい書体を用いている。また、見出しや図のタイトルなど、必要に応じて文字の大きさを変えるなど、読みやすくする配慮をしている。特に1年は、発達段階を考慮し、小学6年の教科書と同じ大きさの文字を使用している。</p>
<p>その他</p> <p>○学習内容の導入部には、身のまわりの生物や日常的に目にする現象の観察を多く取り上げるとともに、コラム「科学で GO !」や特集「ニッポンの科学」などで、日常生活や社会との関連を振り返ることができるように配慮している。</p> <p>p.90</p> <p>○「どこでも科学」として、身近な材料でできる実験やものづくりの題材を数多く取り上げ、手軽なものづくりを通して学習内容の理解が深まるようするとともに、付録のペーパークラフトもふくめ、個にも対応できるように工夫している。</p> <p>p.225</p> <p>○「before &amp; after」によって、生徒が自分の成長を実感し、学ぶ意味を自覚することによって、自己肯定感や自己効力感を感じられるように工夫している。 p.20, p.28</p> <p>○観察・実験のデータ処理や情報収集が必要な箇所、つまずきの多い箇所などで、コンピュータやインターネットの活用を示すマークを設定し、ICT 機器の活用 を促している。 p.111</p> <p>○巻末「理科の学習を深めよう - 校外の施設の活用 -」で、校外施設の利用のしかたや代表的な施設を紹介しており、博物館などを利用しやすくなるように工夫している。 p.262～263</p> <p>○「単元 4 大地の変化」では、各章の最終節を防災・減災に関する内容としている。また、コラム「科学で GO ! 防災大陸」でも自然災害のしくみやそれに対して どのように備えればよいかを記述し、第 1 学年から自然災害に対する意識を高めるようにしている。</p> <p>p.182, p.216 ~ 217, p.248 ~ 249</p>	<p>○学習内容の導入部には、身のまわりの生物や日常的に目にする現象の観察を多く取り上げるとともに、コラム「科学で GO !」や特集「ニッポンの科学」などで、日常生活や社会との関連を振り返ることができるように配慮している。</p> <p>p.218</p> <p>○「どこでも科学」として、身近な材料でできる実験やものづくりの題材を数多く取り上げ、手軽なものづくりを通して学習内容の理解が深まるようするとともに、付録のペーパークラフトもふくめ、個にも対応できるように工夫している。</p> <p>p.187, 付録</p> <p>○「before &amp; after」によって、生徒が自分の成長を実感し、学ぶ意味を自覚することによって、自己肯定感や自己効力感を感じられるように工夫している。 p.174, p.183</p> <p>○観察・実験のデータ処理や情報収集が必要な箇所、つまずきの多い箇所などで、コンピュータやインターネットの活用を示すマークを設定し、ICT 機器の活用 を促している。</p> <p>例：1年 p.111, 2年 p.247, 3年 p.206</p> <p>○巻末「理科の学習を深めよう - 校外の施設の活用 -」で、校外施設の利用のしかたや代表的な施設を紹介しており、博物館などを利用しやすくなるように工夫している。 p.280～281</p> <p>○「単元 4 大地の変化」では、各章の最終節を防災・減災に関する内容としている。また、コラム「科学で GO ! 防災大陸」でも自然災害のしくみやそれに対して どのように備えればよいかを記述し、第 1 学年から自然災害に対する意識を高めるようにしている。 p.237</p>

<p>○野外観察などを通して、主体的に自然と関わる中で、生命尊重や自然環境の大切さに気付くように配慮している。p.10~17</p> <p>○持続可能な開発のための教育:コラム「科学でGO! エコ大陸」「ニッポンの科学」「未来への宿題」で、環境に関する話題を取り上げ、第1学年から持続可能性に対する意識を高められるように配慮している。</p> <p>p.76</p> <p>○巻頭「考察のしかた」、1年巻頭「話し合いのしかた」「発表のしかた」で、考察場面などを通して、真理を大切にしようとする態度や他者の意見を尊重する態度の育成を図っている。p.6~7</p>	<p>○野外観察などを通して、主体的に自然と関わる中で、生命尊重や自然環境の大切さに気付くように配慮している。p.144</p> <p>○持続可能な開発のための教育:コラム「科学でGO! エコ大陸」「ニッポンの科学」「未来への宿題」で、環境に関する話題を取り上げ、第1学年から持続可能性に対する意識を高められるように配慮している。</p> <p>p.195</p> <p>○巻頭「考察のしかた」、1年巻頭「話し合いのしかた」「発表のしかた」で、考察場面などを通して、真理を大切にしようとする態度や他者の意見を尊重する態度の育成を図っている。p.6, p.100</p>
--	--

様式 2

教科名	理科					
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	東京書籍	新編 新しい科学3	927			
取扱内容	<p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領の総則に示す「教育課程の一般方針」「内容等の取扱いに関する共通事項」「授業時間等の取扱い」をふまえて編集している。</li> <li>○中学校理科学習指導要領の「目標」「内容」及び「内容の取扱い」に示された事項のすべてについて不足なく取り上げている。また、自然の事物・現象に進んでかわり、意欲的にかつ目的意識をもって観察・実験を行い、探究的な活動を通して、科学的に探究する能力と態度が育成されるように配慮している。</li> </ul> <p>(2) 知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、既に学習した内容の系統的な反復学習や練習問題などによる繰り返し学習に関する内容、観察・実験やレポートの作成に関する内容、他教科との関連する内容、補充的な学習や発展的な学習に関する内容などがどのように取り扱われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「? (課題)」に対する結論を「!まとめ」として明示し、自学自習にも役立つようにしている。また、公式や重要な事項は、「ここがポイント」欄を設けて強調している。p.19~23</li> <li>○「チェック」「学習内容の整理」「確かめと応用」で、自学自習にも対応している。「チェック」では、本文の参照ページを示し、「確かめと応用」では、巻末に解答と参照ページを示し、復習しやすくしている。p.101</li> <li>○つまづきやすいと考えられる内容では、「例題・練習・確認」や丁寧な解説場面「考え方」を示したり、記述をより丁寧にしたりして、つまづきを克服できるように配慮している。 p.34</li> <li>○エネルギー、粒子、生命、地球の4つの概念に沿って、各単元に教材が適切に配置され、目次の「学習内容を見てみよう」や「学習内容のつながり」で4つの概念との関連を示している。また、「これまでに学んだこと」で既習事項を提示し、小学校や他学年との内容の系統性を保つように配慮している。p.68</li> </ul>					

	<p>○観察・実験の結果を分析・解釈するために、「結果の見方」と「考察のポイント」によって結果・考察の視点を示し、事実を認識させ、根拠に基づいて考えさせるように配慮している。</p> <p>○基礎操作「レポートの書き方」やレポート例「私のレポート」などによって、結果・考察を科学的に表現することを促し、言語活動の充実を図っている。p.94</p> <p>○基礎操作は、本文と区別した囲みの中で図解し、手順や操作上の注意事項が詳細に記述されている。p.304～305</p> <p>○各章の冒頭や随所に設けられた「これまでに学んだこと」で、既習事項が提示されており、小学校の学習内容との関連が図られている。 p.68</p>	
<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>(1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。</p> <p>○各単元の指導時期や内容の関連性をふまえ、生徒の科学的概念の形成に配慮された単元配列となっている。</p> <p>○各単元の指導順序を入れ替えても指導上の齟齬が生じないように、「リンクマーク」によって単元間の関連を図り、多様な指導計画にも対応できるように配慮している。</p> <p>(2) 内容の分量が、各分野や各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>○各学年ともゆとりをもって学習が進められるように、基本的な学習内容は、3年間の総授業時数の90%程度で指導ができるように、時数配分・学習指導計画を考え、作成している。</p> <p>○分量については次のようになっている。</p> <p>・第3学年 第1分野は122ページ、第2分野は172ページ、資料等は20ページであり、総ページ数は314。</p>	

- (1) 生徒の学習意欲を高める工夫されているか。
- 各章の学習前と学習後に同じ問いかけに答える「before & after」によって、生徒が自らの成長を実感でき、また、そのことによって学ぶ意味や必然性を感じられるようになっている。このことにより学習意欲全体が高まるようになっている。p.10, p.26
  - 資料性が高く、わかりやすく工夫されたダイナミックな写真やイラストなどを随所に配置して、生徒の興味・関心を高めるとともに、学習内容への理解が深まるように配慮している。各学年にペーパークラフトを付録として付け、平面では把握しづらい内容の理解をサポートしている。p.234~235
- (2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- 生徒が主体的に探究的な活動に取り組めるように、「予想しよう」「調べ方を考えよう」「考察しよう」など探究の過程に直結した言語活動が配置されており、科学的な思考力・表現力が自然に育成できるように配慮されている。  
p.148~153
  - 学習後に言語活動「学びを活かして考えよう」「学んだことをつなげよう」や「どこでも科学」「科学でGO!」を設定することで、内容の理解をより深められるようにしている。p.57
  - 単元末には「確かめと応用活用編」を設け、PI SA 型の問題、活用型の問題にも対応できるようにしている。
- (3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。
- 文章は短文を心がけ、明快で簡潔な表現になっている。また、読みにくい漢字には見開きの初出箇所ですりがなをつけるなどの工夫をしている。
  - 理科用語、記号は、学習指導要領、学術用語集、JIS、計量法にしたがって、適切に使用している。
  - 巻頭折込の写真資料のページを始め、全ページにわたり、鮮明で最新の写真を効果的に掲載している。
  - 簡潔でわかりやすいイラストを随所に掲載している。また、概念を定着させる図やまとめの図などを、わかりやすく提示している。  
p.204~205

○学習の案内役の「きゅうたん」を新設して、思考のヒントや学習活動の示唆を提示し、一方で、学習内容に対する実際の生徒の自発的な疑問や意見を、生徒キャラクターのセリフとして取り上げ、概念の押しつけにならないよう配慮している。

○実験や基礎操作、事故防止の注意などのマークは、学習の流れやポイントが即座に紙面から理解できるよう、色や形などを工夫している。

○色覚に関する個人差を考慮し、例えばグラフの線などは、色だけで区別せず、線の形を変えたり、線の意味を言葉で示したりしている。

p.285

○本文やそのルビなどの主要部分の書体としてユニバーサルデザイン書体を使用し、読みやすさを追究している。

○本文の文字は、大きく読みやすい書体を用いている。また、見出しや図のタイトルなど、必要に応じて文字の大きさを変えるなど、読みやすくする配慮をしている。特に1年は、発達段階を考慮し、小学6年の教科書と同じ大きさの文字を使用している。

その他

○学習内容の導入部には、身のまわりの生物や日常的に目にする現象の観察を多く取り上げるとともに、コラム「科学でGO！」や特集「ニッポンの科学」などで、日常生活や社会との関連を振り返ることができるように配慮している。

p.86

○「どこでも科学」として、身近な材料でできる実験やものづくりの題材を数多く取り上げ、手軽なものづくりを通して学習内容の理解が深まるようするとともに、付録のペーパークラフトもふくめ、個にも対応できるように工夫している。

p.43

○「before & after」によって、生徒が自分の成長を実感し、学ぶ意味を自覚することによって、自己肯定感や自己効力感を感ぜられるように工夫している。p.10, p.26

○観察・実験のデータ処理や情報収集が必要な箇所、つまずきの多い箇所などで、コンピュータやインターネットの活用を示すマークを設定し、ICT機器の活用を促している。p.206

○巻末「理科の学習を深めよう - 校外の施設の活用 -」で、校外施設の利用のしかたや代表的な施設を紹介しており、博物館などを利用しやすくなるように工夫している。p.310

○「単元 4 大地の変化」では、各章の最終節を防災・減災に関する内容としている。また、コラム「科学で GO ! 防災大陸」でも自然災害のしくみやそれに対して どのように備えればよいかを記述し、第 1 学年から自然災害に対する意識を高めるようにしている。 p.252~263

○野外観察などを通して、主体的に自然と関わる中で、生命尊重や自然環境の大切さに気付くように配慮している。

○持続可能な開発のための教育:コラム「科学で GO ! エコ大陸」「ニッポンの科学」「未来への宿題」で、環境に関する話題を取り上げ、第 1 学年から持続可能性に対する意識を高められるように配慮している。

p.230~301

○巻頭「考察のしかた」、1 年巻頭「話し合いのしかた」「発表のしかた」で、考察場面などを通して、真理を大切にしようとする態度や他者の意見を尊重する態度の育成を図っている。 p.52, p.293

様式 2

教科名		理科				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		大日本図書	新版理科の世界 1	728	大日本図書	新版理科の世界 2
取扱内容	<input type="checkbox"/> 植物の生活と種類・・・観察・実験を通して植物の体のつくりとはたらき、種類を理解し、植物の生活と種類についての認識を深める。 <input type="checkbox"/> 物質のすがた・・・物質を性質の違いから分類する方法や固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解し、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身に付ける。 <input type="checkbox"/> 身近な物理現象・・・光や音の規則性、力の性質、圧力を調べる活動を通して理解し、これらの事物・現象を日常生活や社会と関連付けて科学的に見る見方や考え方 <input type="checkbox"/> 大地の変化・・・火成岩と深成岩のつくりを調べる観察などの活動を通して地表に見られるさまざまな事物現象を大地の変化と関連付けて理解し、大地の変化についての認識を深める。			<input type="checkbox"/> 化学変化と原子・分子・・・炭酸水素ナトリウムの分解や水の電気分解などの活動を通して、分解や化合などにおける物質の変化やその量的関係について理解し、これらの事物・現象を原子、分子モデルと関連づけて見る見方や考え方を身に付ける。 <input type="checkbox"/> 動物の生活と生物の進化・・・無脊椎動物の体のつくりを調べる実験などの活動を通して、生物の体が細胞からできていることや、動物の体のつくりと働き、生物の変遷について理解し、動物の生活と種類についての認識を深める。 <input type="checkbox"/> 電流とその利用・・・回路に流れる電流や電圧を調べる実験やコイルのまわりの磁界の様子を調べる実験を通して電流と電圧との関係、電流と磁界についての初歩的な見方、考え方を身に付ける。 <input type="checkbox"/> 気象のしくみと天気の変化・・・気象要素と天気の関係、気象現象について仕組みと規則性。		
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「物質のすがた」では、身近な物質や気体の性質を調べる学習の後に、物質の状態変化や溶解についての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</li> <li><input type="checkbox"/> 植物の生活と種類・・・43ページ</li> <li><input type="checkbox"/> 物質のすがた・・・67ページ</li> <li><input type="checkbox"/> 身近な物理現象・・・67ページ</li> <li><input type="checkbox"/> 大地の変化・・・65ページ</li> <li><input type="checkbox"/> 資料等・・・43ページ</li> <li><input type="checkbox"/> 総ページ数・・・285ページ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「動物の生活と生物の進化」では、ミクロな視点の細胞のつくりなどの学習の後にマクロな視点の動物の分類などの学習を扱うなど系統的・発展的に学習できるような工夫</li> <li><input type="checkbox"/> 化学変化と原子・分子・・・73ページ</li> <li><input type="checkbox"/> 動物の生活と生物の進化・・・77ページ</li> <li><input type="checkbox"/> 電流とその作用・・・71ページ</li> <li><input type="checkbox"/> 気象のしくみと天気の変化・・・57ページ</li> <li><input type="checkbox"/> 資料等・・・31ページ</li> <li><input type="checkbox"/> 総ページ数・・・309ページ</li> </ul>		
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料的な写真以外にも実験の内容、結果を写真や図をたくさん取り入れることで、視覚からも基礎・基本事項の定着、実験技能の定着が図られている。</li> <li>・系統的に配列され、系統的、発展的に学習できるような工夫がされている。</li> <li>・単元末にサイエンスランドを設け、既習事項の活用の工夫がされている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料的な写真以外にも実験の内容、結果を写真や図をたくさん取り入れることで、視覚からも基礎・基本事項の定着、実験技能の定着が図られている。</li> <li>・系統的に配列され、系統的、発展的に学習できるような工夫がされている。</li> <li>・単元末にサイエンスランドを設け、既習事項の活用の工夫がされている。</li> </ul>		
その他						

様式 2

教科名		理科				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	大日本図書	新版理科の世界3	928			
取扱内容	<p><input type="checkbox"/>運動とエネルギー・・・実験を通して物体の運動規則性やエネルギーの基礎について理解し、運動とエネルギーの初歩的な見方や考え方を身に付ける。</p> <p><input type="checkbox"/>生命のつながり・・・細胞の大きさと核の様子を観察などの活動を通して生物の成長と殖え方、遺伝現象について理解し、生命の連続性について認識を深める。</p> <p><input type="checkbox"/>自然界のつながり・・・食物連鎖の関係をjして物質の循環について理解を深める。</p> <p><input type="checkbox"/>化学変化とイオン・・・電流を取り出す実験などの活動を通して、水溶液の電気伝導性や中和反応について理解し、これらの事物・現象をイオンのモデルと関連付けてみる見方や考え方。</p> <p><input type="checkbox"/>地球と宇宙・・・四季の星座の移り変わりを調べる実習などの活動を通して、地球の運動について考察し、太陽や惑星の特徴及び月の運動や見え方を理解し、太陽系や恒星など宇宙についての認識を深める。</p> <p><input type="checkbox"/>地球の明るい未来のために・・・自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を身に付ける。</p>					
内容の構成・排列・分量等	<p>・「生物の成長とふえ方」では、細胞の増え方や生物の発生についての学習の後に遺伝の規則性と遺伝子についてについての学習を行うなど系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p><input type="checkbox"/>運動とエネルギー・・・67ページ</p> <p><input type="checkbox"/>生命のつながり・・・39ページ</p> <p><input type="checkbox"/>自然界のつながり・・・27ページ</p> <p><input type="checkbox"/>化学変化とイオン・・・53ページ</p> <p><input type="checkbox"/>地球と宇宙・・・57ページ</p> <p><input type="checkbox"/>地球の明るい未来のために・・・43ページ</p> <p><input type="checkbox"/>資料等・・・47ページ <input type="checkbox"/>総ページ数・・・333ページ</p>					
使用上の配慮等	<p>・資料的な写真以外にも実験の内容、結果を写真や図をたくさん取り入れることで、視覚からも基礎・基本事項の定着、実験技能の定着が図られている</p> <p>・系統的に配列され、系統的、発展的に学習できるような工夫がされている。</p> <p>・単元末にサイエンスランドを設け、既習事項の活用の工夫がされている。</p>					

様式 2

教科名		理科				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		学校図書	中学校科学 1	729	学校図書	中学校科学 2
取扱内容	<p>■第1分野については、次のような学習内容を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○1円硬貨の密度から物質名を明らかにする実験などの活動を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解し、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身に付ける。</p> <p>○音の大小や高低と音源の振動との関係を調べる実験などの活動を通して、光や音の規則性、力の性質について理解し、これらの事物・減少を日常生活や社会と関連付けて科学的にみる見方や考え方をもち。</p> <p>■第2分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○植物の葉のつくりの観察や光合成が行われる場所を調べる実験などの活動を通して、生物の調べ方の基礎を身に付け、植物の体のつくりと働きを理解し、植物の生活と種類についての認識を深める。</p> <p>○れき岩や砂岩などのつくりの観察などの活動を通して、地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解し、大地の変化についての認識を深める。</p> <p>■知識・技能の習得、活用、探求への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>○学校のまわりで咲いている花の観察についてレポートを作成するなどの知識・技能を活用する学習や、空気中の水滴の働きによって虹が見えることについて理解するなどの発展的な学習。</p>			<p>■第1分野については、次のような学習内容を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○金属と化合する酸素の質量を調べる実験などの活動を通して、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解し、これらの事物・現象を原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方をもち。</p> <p>○電圧と電流の関係を調べる実験などの活動を通して、電流と電圧との関係及び電流の働きについて理解し日常生活や社会と関連付けて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方をもち。</p> <p>■第2分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○植物や動物の細胞のつくりの観察などの活動を通して、生物の体は細胞からできていることや動物の体のつくりと働き、生物の変遷について理解し、動物の生活と種類について認識を深める。</p> <p>○空気や冷やして水蒸気が水滴になる温度を調べる実験などの活動を通して、気象要素と天気の変化の関係をみだし、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。</p> <p>■知識・技能の習得、活用、探求への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>○物質を加熱したときの変化を調べる実験についてレポートを作成するなどの知識・技能を活用する学習や、体に不要なものをこし取る腎臓の仕組みについて理解するなどの発展的な学習。</p>		
内容の構成・排列・分量等	<p>■内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>○「身のまわりの物質」では、温度を変えたときの物質の状態変化についての学習の後に、気体の性質についての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>■内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>○第1分野は135ページ、第2分野は140ページ、資料等は27ページであり、総ページ数は302ページで、前回より約23%増となっている。</p>			<p>■内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>○「電流とそのはたらき」では、電流の性質や電気の働きについての学習の後に、静電気の性質や電流との関係についての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p>■内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>○第1分野は139ページ、第2分野は139ページ、資料等は32ページであり、総ページ数は310ページで、前回より約20%増となっている。</p>		

<p>使用上の配慮等</p>	<p>■学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コラム「科学の窓」などにおいて、日常生活との関連や科学の話題を紹介し、科学の有用性などを伝えている。</li> <li>○コラム「科学の窓」において、化石燃料の鉱山として美唄市の石炭の鉱山を紹介している。</li> </ul> <p>■主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末の「自由研究」において、自由研究の方法や自由研究のテーマを掲載している。</li> <li>○「単元末問題」や「活用しよう」などにおいて、学習内容を復習できる確認問題や活用問題を設けている。</li> </ul> <p>■使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒がこれまでに学んできたことを確認することができるよう、「思い出してみよう」マークなどを付し、既習事項を示している。</li> <li>○安全に対して配慮が必要な場面では、該当する箇所に「注意」マークを付し、黄色の枠内に注意文を朱字の大文字で掲載している。</li> <li>○全ての生徒が学習しやすいよう、識別しやすいレイアウトや配色にするなど工夫されている。</li> </ul>	<p>■学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コラム「科学の窓」などにおいて、日常生活との関連や科学の話題を紹介し、科学の有用性などを伝えている。</li> </ul> <p>■主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末の「自由研究」において、自由研究の方法や自由研究のテーマを掲載している。</li> <li>○「単元末問題」や「活用しよう」などにおいて、学習内容を復習できる確認問題や活用問題を設けている。</li> </ul> <p>■使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒がこれまでに学んできたことを確認することができるよう、「思い出してみよう」マークなどを付し、既習事項を示している。</li> <li>○安全に対して配慮が必要な場面では、該当する箇所に「注意」マークを付し、黄色の枠内に注意文を朱字の大文字で掲載している。</li> <li>○全ての生徒が学習しやすいよう、識別しやすいレイアウトや配色にするなど工夫されている。</li> </ul>
<p>その他</p>		

様式 2

教科名		理科				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		学校図書	中学校科学 3	929		
取扱内容	<p>■第1分野については、次のような学習内容を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○斜面を下る台車の運動と力の関係を調べる実験などの活動を通して、物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解し、日常生活や社会と関連付けて運動とエネルギーの初歩的な見方や考え方をもつ。</li> <li>○水溶液と電極を用いて電池になる条件を調べる実験などの活動を通して、水溶液の電気伝導性や中和反応について理解し、これらの事物・現象をイオンのモデルと関連付けてみる見方や考え方をもつ。</li> <li>○科学技術によって生活が便利で豊かになった例を調べるなどの活動を通して、エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を身に付ける。</li> </ul> <p>■第2分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○タマネギの種子から発芽した根の細胞分裂の観察などの活動を通して、生物の成長と殖え方、遺伝現象について理解し、生命の連続性についての認識を深める。</li> <li>○昼の長さや太陽の南中高度の関係を調べる実習などの活動を通して、地球の運動について考察し、太陽や惑星の特徴及び月の運動と見え方を理解し、太陽系や恒星など宇宙についての認識を深める。</li> <li>○マツの葉の気孔から大気の流れを調べるなどの活動を通して、自然界のつり合いについて理解し、自然と人間のかかわり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を身に付ける。</li> </ul> <p>■知識・技能の習得、活用、探求への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食塩水の濃度と電圧・電流の大きさの関係を調べる実験についてレポートを作成するなどの知識・技能を活用する学習や、DNAと遺伝子の関係について理解するなどの発展的な学習。</li> </ul>					

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>■内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「生物と環境」では、生態系での生物の働きについての学習の後に、生態系での生物のつり合いについての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</li> </ul> <p>■内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第1分野は134ページ、第2分野は140ページ、第1分野と第2分野の共通ページは17ページ、資料等は31ページであり、総ページ数は322ページで、前回より約10%増となっている。</li> </ul>	
<p>使用上の配慮等</p>	<p>■学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コラム「科学の窓」などにおいて、日常生活との関連や科学の話題を紹介し、科学の有用性などを伝えている。</li> </ul> <p>■主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末の「自由研究」において、自由研究の方法や自由研究のテーマを掲載している。</li> <li>○「単元末問題」や「活用しよう」などにおいて、学習内容を復習できる確認問題や活用問題を設けている。</li> </ul> <p>■使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒がこれまでに学んできたことを確認することができるよう、「思い出してみよう」マークなどを付し、既習事項を示している。</li> <li>○安全に対して配慮が必要な場面では、該当する箇所に「注意」マークを付し、黄色の枠内に注意文を朱字の大文字で掲載している。</li> <li>○全ての生徒が学習しやすいよう、識別しやすいレイアウトや配色にするなど工夫されている。</li> </ul>	
<p>その他</p>		

様式 2

教科名		理 科				
取扱内容	出版社名	教科書名	番 号	出版社名	教科書名	番 号
		教育出版	自然の探究中学校理科1	7 3 1	教育出版	自然の探究中学校理科2
	<p>■ 第1分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○鏡の反射や屈折、凸レンズによってできる像、力の大きさとばねの伸びに関する実験などの活動を通して、光や音の規則性、力の性質について理解し、これらの事物・現象を日常生活や社会と関連付けて科学的にみる見方や考え方をもち。</p> <p>○白い粉末を区別する実験やアンモニアを発生させてその性質を調べる実験などの活動を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解し、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身に付ける。</p> <p>■ 第2分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○水中の微小な生物の観察やホウセンカやトウモロコシなどの茎の内部の観察などの活動を通して、生物の調べ方の基礎を身に付け、植物の体のつくりと働きを理解し、植物の生活と種類についての認識を深める。</p> <p>○火山灰に含まれる粒や安山岩と花こう岩のつくりを調べる観察などの活動を通して、地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解し、大地の変化についての認識を深める。</p> <p>■ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>○池の中に住む微小な生物の観察についてのレポートを作成するなど、知識・技能の活用する学習や粒子の運動と温度との関係について理解するなどの発展的な学習。</p>			<p>■ 第1分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○直列回路と並列回路にかかる電圧を調べる実験などの活動を通して、電流と電圧との関係及び電流の働きについて理解し、日常生活や社会と関連付けて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方をもち。</p> <p>○熱分解や酸化還元の実験活動を通して、化合、分解や酸化還元などにおける物質の変化やその量的な関係について理解し、これらの事物・現象を原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方をもち。</p> <p>■ 第2分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○植物と動物の細胞の観察や刺激に対するヒトの反応を調べる実験などの活動を通して、生物の体は細胞からできていることや動物の体のつくりと働き、生物の変遷について理解し、動物の生活と種類についての認識を深める。</p> <p>○露点を調べる実験などの活動を通して、気象要素と天気の変化の関係を見だし、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。</p> <p>■ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>○金属の質量と化合する酸素の質量との関係を調べる実験についてレポートを作成するなどの発展的な学習。</p>		

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>■ 内容の構成・配列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>○「大地の成り立ちと変化」では、火山と火成岩と続けて学習した後に、地震についての学習を扱い、その後に大地の歴史と地層としてさまざまな地層や堆積岩、化石について学習し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>■ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>○第1分野は120ページ、第2分野は124ページ、資料等は38ページであり、総ページ数は282ページで、前回より約23パーセント増となっている。</p>	<p>■ 内容の構成・配列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>○「電流の世界」では、早期に粒子概念を身に付けることができるよう静電気や火花放電、電子など電流の正体を学習した後に、電流と電圧などについての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>■ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>○第1分野は122ページ、第2分野は130ページ、資料等は32ページであり、総ページ数は284ページで、前回より約21パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○コラムの「ハローサイエンス」や「歴史」において、身近なことについて科学的に考える内容や、科学者の発明・発見を取り上げたり、日常に使われている理科を写真で紹介するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「考えよう!」「話し合おう!」「活用しよう!」など学習した知識を科学的に思考し、表現することへの意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○単元末の「要点と重要語句の整理」「基礎・基本問題」「応用問題」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○巻末には、どの学年にも自由研究のやり方や、実験器具の使い方、理科で扱う算数、数学などがあり、発展的学習に興味や意欲を高める工夫がなされ、知識や技能の整理にも役立つような工夫がなされている。</p> <p>付録として取り外しできる11種類の「原子モデルカード」を掲載し、安全に対して配慮が必要な場面では、その箇所に「!」マークを付けて注意文を赤で表記したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>	<p>○コラムの「ハローサイエンス」や「歴史」において、身近なことについて科学的に考える内容や、科学者の発明・発見を取り上げたり、日常に使われている理科を写真で紹介するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「考えよう!」「話し合おう!」「活用しよう!」など学習した知識を科学的に思考し、表現することへの意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○単元末の「要点と重要語句の整理」「基礎・基本問題」「応用問題」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○巻末には、どの学年にも自由研究のやり方や、実験器具の使い方、理科で扱う算数、数学などがあり、発展的学習に興味や意欲を高める工夫がなされ、知識や技能の整理にも役立つような工夫がなされている。</p> <p>付録として取り外しできる11種類の「原子モデルカード」を掲載し、生徒一人一人が授業で活用できるようにしたり、安全に対して配慮が必要な場面では、その箇所に「!」マークを付けて注意文を赤で表記したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>		

様式 2

教科名	理 科					
	出版社名	教科書名	番 号	出版社名	教科書名	番 号
	教育出版	自然の探究中学校理科3	931			
取扱内容	<p>■ 第1分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○力の合成や分解の演習、斜面を下る運動、動滑車を使ったときの仕事を調べる実験などの活動を通して、物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解し、日常生活や社会と関連付けて運動とエネルギーの初歩的な見方や考え方をもつ。</p> <p>○化学電池、酸とアルカリの中和の実験などの活動を通して、水溶液の電気伝導性や中和反応について理解し、これらの事物・現象をイオンのモデルと関連付けてみる見方や考え方をもつ。</p> <p>○エネルギーの移り変わりを調べる実験などの活動を通して、様々な発電方法の仕組みや特徴を理解するなどの活動を通して、エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を身に付ける。</p> <p>■ 第2分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○水中の微小な生物の観察やホウセンカやトウモロコシなどの茎の内部の観察などの活動を通して、生物の調べ方の基礎を身に付け、植物の体のつくりと働きを理解し、植物の生活と種類についての認識を深める。</p> <p>○火山灰に含まれる粒や安山岩と花こう岩のつくりを調べる観察などの活動を通して、地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解し、大地の変化についての認識を深める。</p> <p>■ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>○水溶液と金属を使って電気エネルギーを取り出す実験についてレポートを作成するなどの知識・技能を活用する学習やiPS細胞の作成について理解するなどの発展的な学習。</p>					

内容の構成・排列・分量等	<p>■ 内容の構成・配列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>○「地球と宇宙」では、天体の1日の動きから、1年の動き、季節の変化を扱うことで系統的に学習できるような工夫</p> <p>■ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>○第1分野は134ページ、第2分野は122ページ、資料等は58ページであり、総ページ数は314ページで、前回より約31パーセント増となっている。</p>
使用上の配慮等	<p>○コラムの「ハローサイエンス」や「歴史」において、身近なことについて科学的に考える内容や、科学者の発明・発見を取り上げたり、日常に使われている理科を写真で紹介するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「考えよう!」「話し合おう!」「活用しよう!」など学習した知識を科学的に思考し、表現することへの意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○単元末の「要点と重要語句の整理」「基礎・基本問題」「応用問題」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○巻末には、どの学年にも自由研究のやり方や、実験器具の使い方、理科で扱う算数、数学などがあり、発展的学習に興味や意欲を高める工夫がなされ、知識や技能の整理にも役立つような工夫がなされている。</p> <p>付録として取り外しできる11種類の「原子モデルカード」を掲載し、星座早見盤を作成し興味・関心を高める工夫、安全に対して配慮が必要な場面では、その箇所に「!」マークを付けて注意文を赤で表記したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

様式 2

教科名		理科				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	啓林館	未来へひろがるサイエンス1	732	啓林館	未来へひろがるサイエンス1マイノート1	733
取扱内容	<p>○植物のくらしと仲間・・・生物の調べ方の基礎を身に付け植物の体のつくりと働きを理解し、植物の生活と種類についての認識を深める。</p> <p>○活きている地球・・・観察などの活動を通して、地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解し、大地の変化についての認識を深める。</p> <p>○身のまわりの物質・・・実験などの活動を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解し、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身に付ける。</p> <p>○光・音・力による現象・・・実験などの活動を通して、光や音の規則性、力の性質について理解し、日常生活に関連付けて科学的にみる見方や考え方を身に付ける。</p>			<p>○未来へ広がるサイエンス1の既習事項の定着と発展的学習を広げるワークブック。</p>		
内容の構成・排列・分量等	<p>○「活きている地球」では、火山や地震の学習の後に、地層における過去の事象についての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p><input type="checkbox"/>植物のくらしと仲間・・・42ページ</p> <p><input type="checkbox"/>活きている地球・・・49ページ</p> <p><input type="checkbox"/>身のまわりの物質・・・53ページ</p> <p><input type="checkbox"/>光・音・力による現象・・・51ページ</p> <p><input type="checkbox"/>資料等・・・65ページ</p> <p><input type="checkbox"/>総ページ数・・・260ページ</p>			<p>○未来へひろがるサイエンス1に沿った構成・配列。</p> <p><input type="checkbox"/>総ページ数・・・82ページ</p>		
使用上の配慮等	<p>○豊富な写真や資料、コーナーなど生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○マイノートを付帯している。</p>			<p>○生徒一人一人が学習した内容を整理できるようになっている。</p>		
その他						

様式 2

教科名		理科				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		啓林館	未来へひろがるサイエンス2	832	啓林館	未来へひろがるサイエンス1マイノート2
取扱内容	<p>○動物の生活と生物の進化・・・生物の体は細胞からできていることや、動物の体のつくりと働き生物の変遷について理解し、動物の生活と種類についての認識を深める。</p> <p>○地球の大気と天気の変化・・・気象観測などの活動を通して、気象要素と天気の変化の関係をみだし、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。</p> <p>○化学変化と原子・分子・・・実験などの活動を通して、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解し、これらの事物・現象を原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方を身に付ける。</p> <p>○電流の性質とその利用・・・実験などの活動を通して、電流と電圧との関係及び電流の働きについて理解し、日常生活と関連付けて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を身に付ける。</p>			<p>○未来へ広がるサイエンス2の既習事項の定着と発展的学習を広げるワークブック。</p>		
内容の構成・排列・分量等	<p>○「化学変化と原子・分子」では、化学反応式を確実に習得できるよう早い段階から化学式の学習をした後に、様々な化学変化において化学反応式を用いる学習を扱うなど系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p><input type="checkbox"/>動物の生活と生物の進化・・・61ページ</p> <p><input type="checkbox"/>地球の大気と天気の変化・・・49ページ</p> <p><input type="checkbox"/>化学変化と原子・分子・・・55ページ</p> <p><input type="checkbox"/>電流の性質とその利用・・・61ページ</p> <p><input type="checkbox"/>資料等・・・44ページ</p> <p><input type="checkbox"/>総ページ数・・・270ページ</p>			<p>○未来へひろがるサイエンス2に沿った構成・配列。</p> <p><input type="checkbox"/>総ページ数・・・86ページ</p>		
使用上の配慮等	<p>○豊富な写真や資料、コーナーなど生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○マイノートを付帯している。</p>			<p>○生徒一人一人が学習した内容を整理できるようになっている。</p>		
その他						

様式 2

教科名		理科				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		啓林館	未来へひろがるサイエンス3	932	啓林館	未来へひろがるサイエンスマイノート3
取扱内容	<p>○生物の連続性・・・根の細胞分裂の観察などの活動を通して、生物の成長と殖え方、遺伝現象について理解し、生命の連続性について認識を深める。</p> <p>○宇宙の中の地球・・・観測などの活動を通して、地球の運動について考察し、太陽や惑星の特徴及び月の運動と見え方を理解し、太陽系や恒星など宇宙についての認識を深める。</p> <p>○化学変化とイオン・・・実験などの活動を通して、水溶液の電気伝導性や中和反応について理解し、これらの事物・現象をイオンのモデルと関連付けてみる見方や考え方を身に付ける。</p> <p>○運動とエネルギー・・・実験などの活動を通して、物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解し、日常生活と関連付けて運動とエネルギーの初歩的な見方や考え方を身に付ける。</p> <p>○自然と人間・・・生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解し、自然と人間の関わり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し、判断する態度を身に付ける。</p>			<p>○未来へ広がるサイエンス3の既習事項の定着と発展的学習を広げるワークブック。</p>		
内容の構成・排列・分量等	<p>○「生命の連続性」では、親から子に形質を伝えていく生命の連続性を示すために、生物の成長の学習の後に、生殖や遺伝についての学習を扱うなど系統的・発展的に学習できるような工夫。</p> <p><input type="checkbox"/>生物の連続性・・・27ページ</p> <p><input type="checkbox"/>宇宙の中の地球・・・46ページ</p> <p><input type="checkbox"/>化学変化とイオン・・・51ページ</p> <p><input type="checkbox"/>運動とエネルギー・・・61ページ</p> <p><input type="checkbox"/>自然と人間・・・59ページ</p> <p><input type="checkbox"/>資料等・・・50ページ</p> <p><input type="checkbox"/>総ページ数・・・294ページ</p>			<p>○未来へひろがるサイエンス3に沿った構成・配列。</p> <p><input type="checkbox"/>総ページ数・・・86ページ</p>		
使用上配慮	<p>○豊富な写真や資料、コーナーなど生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○マイノートを付帯している。</p>			<p>○生徒一人一人が学習した内容を整理できるようになっている。</p>		
その他						